



平成30年11月14日

各位

会社名株式会社エムアップ
代表者名代表取締役美藤宏一郎
(コード番号: 3661)
問い合わせ先 取締役総務経理部長 藤池季樹
TEL. 03-5467-7125

業績予想の修正に関するお知らせ

本日、平成30年11月14日開催の取締役会において、平成31年3月期の業績見通しを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 平成31年3月期連結業績予想数値の修正（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A）	百万円 -	百万円 -	百万円 -	百万円 -	円 銭 --
今回予想（B）	6,300	325	284	△2,300	△255 55
増減額（B-A）	-	-	-	-	
増減率（%）	-	-	-	-	
（ご参考）前期実績 （平成30年3月期）	3,683	309	434	96	12 98

2. 修正の理由

当社は、平成30年9月28日を効力発生日とし、EMTG株式会社（以下、「EMTG」）を完全子会社化し、平成31年3月期の業績見通しの精査を進めてまいりました。取得価格及びのれん計上額が確定するとともに、EMTGの会計基準等の精査が完了したため、平成31年3月期の業績見通しを決議したものです。

EMTGの会計基準の見直しによる業績への影響は以下の通りです。

当社では、設立以来、事業活動の成果を適時適切に財務諸表に反映させるため、原則的にはソフトウェアについては資産計上せず、研究開発費として費用処理しております。

これに対して、完全子会社化したEMTG株式会社（以下、「EMTG」）では、ソフトウェアを資産計上し、5年間で償却しておりました。

今回、EMTGを完全子会社化するにあたり、これまで同社が資産計上していたソフトウェア資産を見直し、平成31年3月期において、ソフトウェアを費用処理することといたしました。

以上より、平成31年3月期の業績予想において売上高は、3,683百万円から6,300百万円（前年同期比171.1%）と増加する見通しです。一方で、上記の通りEMTGのソフトウェアの費用処理によって利益は圧迫され、営業利益は325百万円、特別損失の計上により当期純利益は△2,300百万円となることを見通しております。

平成31年3月期にソフトウェアを費用処理することで、平成32年（2020年）3月期以降はEMTGの財務体質は改善し、収益性が向上し、利益率は適正な水準に戻ると想定しております。

また、当社グループとしてシナジー効果を発揮させることで、グループ全体としての売上高、利益も

増加していくと見込んでおります。

EMTGの子会社化に伴う特別損失の計上については、「特別損失計上に関するお知らせ」をご参照ください。

<見通しに関する留意事項>

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の経済情勢や、事業運営における環境変化、あるいは見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等、さまざまな要因により実際の業績は見通しと大きく異なる結果となり得る場合があります。なお、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

以上